

校長室便り

平成 30 年 7 月 20 日

生徒の力を信じたい！

丸山台中学校
校長 榎田 卓央

はじめに、先の関西での大地震と西日本を襲った豪雨により被害を受けられた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。大地震や風水害による未曾有の出来事に、心を痛めました。例年にも増して“危険な”とまで表現される夏の暑さが、人々の復旧作業に立ちはだかっています。二次災害が起きない事を祈らずにはられません。

災害を伝えるテレビニュースを見て、いつも頭が下がる事があります。それは、災害ボランティアの姿です。

被害の出た場所に、自らの意志で駆けつけて「自分に何かできることはないか？」と手弁当で片づけを手伝う姿に、被害にあった方々はどれだけ救われていることでしょうか。それも全国各地から、自分の生活は後回しにして片づけや補修に積極的に取り組んでいます。中には、7年前の東日本大震災の時にボランティアに助けられた東北の人達が、現地に入り様々に活動する様子が映し出されていました。普段の生活とは違い、酷暑続きの日々、冷房もなく、飲食物や寝床も不十分な過酷な環境でも、何とかして被害にあった方を、少しでも手伝いたいという意思を形にする姿に感動すら覚えます。互助精神と言いますか、ジーンとくる瞬間です。

「自分に何かできることはないか？」日々の生活の中で、自分の周囲に困った人がいたら自問自答していきたい言葉です。被災地の、一刻も早い復興を願っています。

先日、ボランティアに熱心に取り組む丸山台中学校の多くの生徒に接しました。それは丸山台公園での自治会のお祭りへの参加です。地域の一人として、暑い中学生徒たちは学校の先生や地域の大人に交じって、会場の設営や片づけ、また「丸山台中学校店」でのヨーヨー釣りのお店の運営に取り組んでくれました。設営では、実際にそのやり方を教わり、次々に会場が出来上がっていく様子は見事でした。また、ヨーヨー釣りを楽しみにしている小さい子どもたちの為に、暑さを忘れせさせと風船を作り、2日間で800個のヨーヨーを制作し、完売しました。売り切れるまで長い行列が途絶えなかったのが印象的でした。売り上げ金は全額、寄付します。

また、環境維持の為にごみの分別のプラカードを手に、会場内を周回する生徒もいました。

普段、自分たちが使う公園をこういう機会を通して美化に努めるという意気込みを感じる
ことができました。生徒たちは今回のボランティア活動を通して、きっとたくさんのことを
学んだことでしょう。大人になっても「自分に何かできることはないか？」を、自ら考えて
行動に移せる生徒たち！と感じました。ボランティア生徒の皆さん、ご苦労様でした。

さておかげ様で今年度の丸山台中学校は、4月からここまで順調に教育課程がすすみ、
大きな事件や事故もなく無事に今日を迎える事が出来ました。明日から約5週間の夏休み
です。「待ちに待った」夏休みでしょうか？自分自身も子どもの頃には、「夏休みには、〇〇
したい」とその日が来るのを心待ちにしていたものでした。学校生活とは一味違った、いろ
いろな体験ができることが、長期休業期間中の楽しみや喜びだったと思い出しています。

488人の夏休みは、どんな夏休みになるのでしょうか？

3年生は、いよいよ卒業後の自分自身の進路選択に向けてのまとめの時期です。普段の
日々ではできない事も、長い期間をかけて取り組むことで目標達成に近づくこととなります。
焦らずに、じっくりとコツコツと取り組むことで、必ずや成果が出ます。皆さんの力を信じ
ています。

2年生は、夏休み明けに中学校生活が折り返しの時を迎えます。3年間の中学校生活の
半分が終わろうとしています。中学校生活残りの半分の半をどのように過ごしていくのか？を
考えるにはうってつけの期間になります。皆さんの力を信じています。

1年生、4か月が経ち中学生らしさが日に日に感じられるようになってきました。ここま
での日々が長いと感じたか、それともあっという間に感じたか、それぞれだと思います。
先輩たちから学ぶことの多い今を大切にしてください。皆さんの力を信じています。

学年によっても異なるとは思いますが、一人ひとりにとって最高の思い出になると良いで
すね。全員元気で、8月27日に会いましょう！

今後の主な予定

7月21日～8月26日	夏季休業期間
8月10日～8月16日	学校閉庁日（職員不在期間）
8月27日	前期後半開始 避難訓練
8月28日～31日	教育相談
9月6日～9月7日	前期期末試験

《スクールカウンセラー》

8月31日、9月14日、21日、28日